



歩行空間における人・ロボットの円滑な移動の支援に向け、データ整備・更新を効率的に実施できるよう、歩行空間ネットワークデータ整備仕様を改定しました。

改定ポイント

<ポイント1> 簡易な計測によるデータ整備・更新

- 現地調査やデータ入力作業等により時間と労力が必要なため、データ整備・更新があまり進まなかったことを踏まえ、通行時の主なバリアとなる幅員・縦断勾配・段差に関する情報のみの確認とすることで、効率的な歩行空間ネットワークデータの整備・更新を行えるよう改定。

<ポイント2> モビリティの性能を考慮した仕様変更

- 主なバリアである「幅員」「縦断勾配」「段差」の閾値について、電動車椅子や自動配送ロボット等の性能の違いも考慮することにより、歩行空間を利用する人のみならずロボットに対しても活用できるよう改定。

<ポイント3> モビリティ等の走行軌跡を活用したデータ整備・更新

- ランク区分の設定により、現地調査のみで実施してきた歩行空間ネットワークデータの整備・更新を、将来的にはモビリティ等の走行軌跡を活用し、データ整備・更新ができるよう改定。

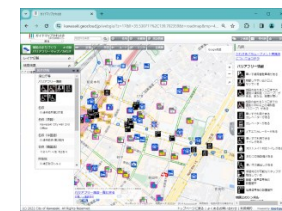
活用イメージ

従来の自治体が提供するバリアフリーマップや詳細なバリアフリーナビでの活用のみならず、簡易版のバリアフリーナビ（「通れたマップ」）や自動配送ロボットにも活用の幅が広がるよう改定。

従来の活用 … バリアフリーマップや詳細なバリアフリーナビ

[使用データ例]幅員・縦断勾配・段差の他、誘導ブロック・エレベーター、踏切、信号、屋根の有無、路面状況、バス停等（歩道上の有無）

[使用データ例]左記に同じ [信号等の位置情報の精度] 歩道上の有無



ガイドマップかわさき バリアフリーマップ (川崎市)

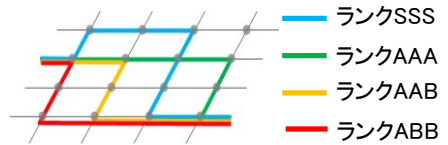


Japan Walk Guide (日本電信電話株式会社)

改定による活用拡大

バリアフリーナビ (簡易版「通れたマップ」のイメージ)

自動配送ロボット等への活用



* ランク区分別のルート情報やナビ等を提供



* 自動配送ロボット等が通行可能な経路情報等の提供